

平成26年度 第1回箕郷地域審議会における質疑一覧 [平成26年5月29日開催]

1 箕郷地域の事業推進状況に係る質疑

内容区分	No	質 疑	回 答
箕郷地域観光施設整備事業について	1	みさと芝桜公園は、4月から5月にかけての芝桜まつり開催期間はかなりの人出もあり、賑やかな公園となっている。これを、年間を通して楽しめる公園にならないものか。	みさと芝桜公園については、みさと芝桜まつりを実施し、多数の来場者で賑った。まつり期間以外は開放し、散策できるようになっているので、一般の公園として利用していただきたい。当面は芝桜の再生を集中的に行いたいと考えている。
	2	芝桜公園のシバザクラがあちこち枯れているのが目立つが、防止策としてどのような対策を講じているのか。	毎年、植替え・補植・除草等を行い、年間を通して維持管理を行っている。特に、古い株等、咲きの悪い箇所を調査し計画的に植替えを行っている。本年度については、傾斜部で芝の付きが悪い所に間伐材を使用した土留め工事を行いたい。
箕輪城跡保存整備事業について	1	今年度は隣接地に広い駐車場の整備が予定されているが、身体の不自由な方のために、二の丸駐車場をそのまま確保するとともに、道路幅の狭い曲がった坂道を改善してほしい。 また、この駐車場内に看板が設置してあるが、見づらいので更新をお願いしたい。	搦手口の新駐車場ならびに城門復元整備が完成した後は、新駐車場から徒歩で登城し、城門を經由して本丸へ至る経路が基本動線となる。ただし、高齢者や身体の不自由な方などのために、二の丸駐車場の機能は残しておきたいと考えている。 看板については、統一的なデザインを検討中であり、整備工事のなかで、計画的・段階的に新設していく予定である。
箕輪小学校校舎改築事業について	1	箕輪小学校改築事業はいつから始まり、いつ終わる予定なのか。小学校用地のレイアウトはどのようになるのか。また、建設中は仮設校舎を建てるのか。建てる場合、建設場所はどこになるのか。なお、保護者が送迎する際の駐車場や通行ルートはどのようになるのか。	本事業は、建設場所に変更が生じ、建設用地として北側隣地の用地を買収して、改めて設計することとなった。今後、校地測量や地質調査を経て、26、27年度の2ヵ年で基本設計及び実施設計を行う予定である。用地のレイアウトや仮設校舎の要否等については、今後、基本設計の中で協議し決定していく(次項へ続く)

内容区分	No	質 疑	回 答
			(前項の続き) ととなる。 保護者の駐車場や通行ルートも含め、慎重に進めていきたい。
	2	4月22日付けの群馬建設新聞に、「用地交渉続く箕輪小新校舎」という見出しで記事があった。現在用地交渉はどのようになっているのか、具体的に説明をお願いしたい。	地権者との交渉は順調に進んでおり、現在は契約に至るための諸手続き事務を進めている。手続きが終了すれば契約となる予定である。

## 2 その他の質疑

内容区分	No	質 疑	回 答
年間を通した観光客確保のための既存資源の有効活用について	1	箕輪城跡、芝桜公園、榛名白川、鳴沢湖等の資源は各々手を入れていただいている。芝桜公園は、開花の時期は来客数が多いが他の時期は活用されていないようにも感じる。 また、観光資源ごとにシーズンが異なるために連携を取るのが難しく、訪れた観光客も目的地のみで町内の散策まではしないのが現状である。各所をつなぐ遊歩道や観光マップの整備、また、年間を通じての観光客確保に向けた既存資源の有効活用の考えはあるのか。	梅まつりや芝桜まつりなどで、A3二つ折り両面刷の観光パンフレット「みさと紀行」を配布している。また、支所でもパンフレットを設置している。このパンフレットは、箕郷地域の祭りやイベント、箕輪城跡やふれあい公園等をご案内している。 3年ぶりに鳴沢湖では観光ボートを5月1日より開始したので、チラシを作成し、芝桜会場で配布したところ観光客が訪れた。 今後においても、既存資源を活用したパンフレットなどを更新していきたいと考えている。

内容区分	No	質 疑	回 答
鳴沢湖でのワカサギ釣り等の再開について	1	3年前の東日本大震災で被害を受けた鳴沢湖の堤防が復旧し、ワカサギ釣りやボート事業等が再開するとのことだが、その具体的な計画はどのようなものか。	23から25年度までの3年間は中止していたが、堰堤の復旧工事が終了したので、26年度から再開した。観光ボートについては、5月1日から8月31日まで行き、ワカサギ釣りについては、10月1日から2月28日までの予定で準備を進めている。
県道における歩道の設置について	1	箕郷地域には、主要地方道、高崎・安中・渋川線、前橋・箕郷線、高崎・東吾妻線がそれぞれ旧高崎方面や前橋市方面と箕郷地域を結ぶ主要幹線道路となっている。これらの県道には歩道のないところがあるので、とても危険である。西毛広域幹線道路ができるとう交通量も増えると予想されるので、歩道がないところは、是非、安全に通行できる歩道の整備をお願いしたい。	西毛広幹道が完成すると、交通量が増えることが想定される。西毛広幹道との交差部分については、県から、「前後約100mは歩道整備を行う予定である」と聞いている。今まで、道路管理者である県に歩道等の整備要望はしており、今後も地元区長さんと協力し要望をしていきたいと考えている。
サイクリングロードの延長整備について	1	サイクリングロードは、箕郷地域内では中部用水沿いにのみ整備されている。烏川沿いでは下流から沖町まで、井野川沿いでは群馬地域まで整備されているが、箕郷地域までは未整備の状況となっている。年々自転車に対する志向も高いので、未整備部分を延長し、多くの方に周遊できるようにお願いしたい。	箕郷地域を結ぶサイクリングロードは、河川管理道を利用することになるので、管理者である県や警察などの関係機関と検討していきたい。
雪害対策について	1	今年2月の大雪により、町内全域で交通網が遮断され、住民生活に大きな支障が生じた。今後の大雪対策はどのようなものか。また、高齢者世帯及び独居老人の方への対応は、どのように考えているのか。なお、倉淵地域では、委託事業の他、地域住民のトラクター等を借り上げ、除雪対応を行っている。このような方策も、地域住民の安全を確保するためには効力があると思うので、ご検討をお願いしたい。	今回の大雪対応について、本市としての問題点を精査し、高崎市地域防災計画についても見直しを行う。 また、高齢者世帯などへの対応は、地域の区長さんなどの協力を得て安否確認などの対応が最優先と考えている。 今後は、倉淵地域の取組み事例も参考にしながら、地域の様々な共助をさらに助長させるような行政としての取組みを検討していきたい。